

## ねんりんピックかながわ 2022 美術展を視察された方々の感想文をご紹介します！

### 「ねんりんピックかながわ 2022 美術展 視察報告書」

彫刻部門 梅村 仁志さん

令和4年11月12日から15日までの4日間にわたり神奈川県で開催された、第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会「ねんりんピックかながわ 2022」美術展に、私の彫刻が出品されることになりました。

財団事務局からのお声掛けが後押しとなり、美術分野では初めて大会の視察に行くことになりました。

令和3年、従兄に勧められて初めて出した作品が、岩手県民長寿文化祭第33回作品展の彫刻部門で最優秀賞になり、「ねんりんピック岐阜 2021」美術展の出品作品に選ばれました。

ところが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で岐阜大会は中止になりました。

幸い、令和4年の神奈川大会にも出品されることになり、11月7日には県庁で県旗授与式という貴重な経験をして、大会に臨みました。

神奈川県内各会場での本県選手団の健闘を祈りながら、私は美術展が開催されている神奈川県民ホールに到着しました。

まず、「全国健康福祉祭」の規模の大きさに驚いてしまいます。

高齢者のスポーツや文化の交流大会と捉えていた「ねんりんピック」ですが、横浜市内至る所で多彩なイベントが繰り広げられ、小さな子供から高齢者の方まで幅広い人が楽しめる県民挙げての一大事業でした。

今回の目的である美術展には、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門に、全国から選び抜かれた500点の作品が寄せられていました。

注目の彫刻部門には、57作品の出品があり、長い経験に裏打ちされた技術に目を見張りました。それに比べて見慣れたはずの自分の作品がとても貧弱に思えてなりませんでした。

その中でも、厚生労働大臣賞に輝いた「切れたロープ ひやり・ハット」という作品は、労働災害防止という難しいテーマを造形芸術にしたメッセージ性のある作品でした。

神奈川県知事賞の「常民」という作品のタイトルと衝撃的なフォルムは今でも目に焼き付いたままです。「黒い顔の2匹のひつじ」という作品では、ひつじの毛を、丸めた新聞紙で表現し、その質感に脱帽したものです。

今回の美術展視察は、創作技術以上に大切なものを教えてくれた旅でした。

今後も「ねんりんピック」への参加を目標として、地域の文化活動を盛り上げて参ります。

今回お世話になった関係者皆さんへのお土産は、「次回作」に込めたいと思っています。



(ご自身の作品の前で)

〔彫刻〕

「錦秋湖に浮かんだ翻車魚」

梅村 仁志さん 71 歳(岩手県)



(美術展の会場となった神奈川県民ホール前で)



〔彫刻〕 横浜市長賞

「黒い顔の2匹のひつじ」

馬淵 誠さん 71 歳(浜松市)



〔彫刻〕 神奈川県知事賞

「常民」

谷 由樹さん 72 歳(長野県)



〔彫刻〕 厚生労働大臣賞

「切れたロープ ひやり・ハット」

畷田 敏幸さん 85 歳(滋賀県)



(全国から選び抜かれた 500 点の作品が  
展示された会場内の様子)

### 「視察報告書」

洋画部門 井口 敏良さん

11 月 14 日に、神奈川県民ホールで開催中の「ねんりんピックかながわ 2022 美術展」を見てまいりました。

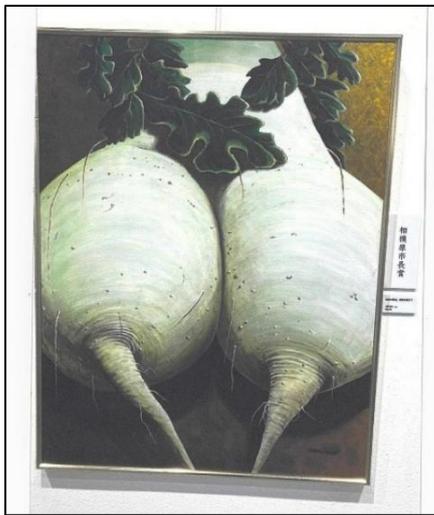
全国からの出品作品は、日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、ざっと 500 点以上。

そのうち洋画は 90 点余りという状況で、すべてを丁寧に見て回るとかなりの時間を要しました。

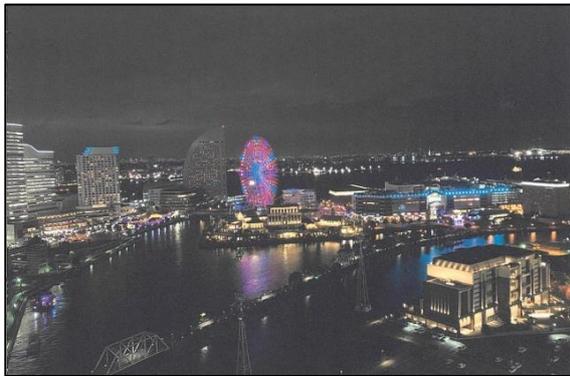
洋画の入賞作品をみると、インパクトのある構図や色彩、筆使いなど参考になるものが多々ありました。

また、日本画や彫刻などにも非常に心を惹かれる良い作品がありました。

機会をいただき、ありがとうございました。



[洋画] 相模原市長賞  
「大地の創造、想像を超えて」  
和田 道弘さん 82 歳(神奈川県)



(宿泊したホテルからの夜景)

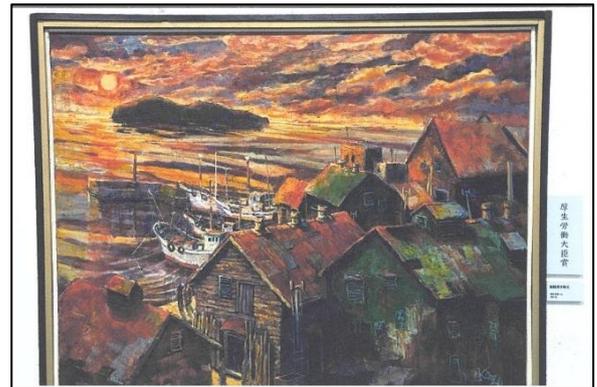


(真ん中=ご自身の作品)

[洋画]

「不条理」

井口 敏良さん 72 歳(岩手県)



[洋画] 厚生労働大臣賞

「船舶港夕映え」

熱田 和博さん 71 歳(神奈川県)

「-ねんりんピックに参加して-」

写真部門 北井崎 昇さん

岩手県ねんりんピック美術展が 2022 年6月に行われた。この美術展の写真の部で岩手県代表に選出され、全国展に出品することになった。今回の大会は、神奈川県で、県内 26 市町村で行われ、美術展は横浜市の県民会館で開催された。

その前の開催県は岐阜県であった。岐阜の大会でも県代表に選出され、大いに期待していた。ところが大会の近くになってコロナ禍が広がって大会自体が消滅し、期待していた作品を全国展に出品することができず、未だ作品は押入れで眠っている。

今回の大会は 2022 年 11 月 12 日～15 日に第 34 回、神奈川県で開会され、初めて参加することができた。

ねんりんピックはスポーツ、文化、健康と福祉の総合された祭典である。文化部門は日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真に分かれ、出品数は約 500 点、本県からは6部門で 12 点の参加であった。

私が参加した部門は写真である。

岩手県からは工芸部門で高橋 幸雄氏 93 歳が一般財団法人長寿社会開発センター理事長賞に輝いた。

美術展全体の最高齢者は、静岡市出身の 102 歳の出品。

各部門の最高齢者は、日本画では 96 歳山形県、洋画は 91 歳山口県、彫刻は 98 歳京都府、工芸は 97 歳三重県、書は 102 歳山梨県、写真は 92 歳山梨県の出品。

日本全人口の 65 歳以上の人口割合は 28.9%(2022 年5月)。

本大会のねんりんピック参加年齢 60 歳以上では、70 歳と 80 歳はほぼ半数ずつ、60 歳代は数%である。

[ねんりんピックかながわ 2022 のながれ]

1総合開会式 会場 横浜アリーナ

2交流大会 神奈川県内 26 市町村 32 種目

3未病改善教室 内容 健康チェック 健康相談 食生活栄養改善や運動に関する助言指導

4スマイリングフェスタ 於、各地会場

5総合閉会式 横須賀芸術会場

大会のながれは以上だが、日程とアクセスの関係から殆ど参加できずに帰宅。

芸術部門の写真の出品について、このたびの全国からの出品点数は約 100 点であった。

審査員は、日本写真家協会 山田 信次氏、カメラ雑誌「フォトコン」編集長 藤森 邦晃氏。

両氏の総評は、「写真は被写体を目の前にしないと撮ることはできません。そして撮りたいと思わないとカメラを向けてシャッターを切ることはありません。応募された作品からは、出会いの感動とそれを伝えようという気持ちが伝わってきました。」と述べられた。

○気を留めた作品の寸評

・春の宵(厚生労働大臣賞) スローシャッターの技法と点景光のランタンが良かった。

・ラブコール(神奈川県知事賞) 毛づくろいのいいチャンスと表現の上手さを感じた。

・極寒のしらす漁(横浜市長賞) 撮影者、作品の迫力臨場感。

・喜色満面(相模原市長賞) はしゃぎまわる田んぼの子供の全身みなぎる仕草。

○ねんりんピック美術展会場で最も新鮮さを感じた事

美術展会場は、5部門 500 点余りの作品を展示できる大変広い会場である。一点ずつ見ていくと大変時間がかかる。私は写真の部で参加しているので、写真の部については念入りに鑑賞した。

特に驚かされたことは、展示の仕方にバーチャルリアリティー(VR)技術を取り入れたことだ。この技術は広い会場を移動せずして、一つのディスプレイの画面にすべての出品物が上下左右斜めなど色々な角度から鑑賞できることである。しかし、画像の鮮明度、画像の歪みが気になる。この VR に検索方法を加えるともっと素晴らしいものとなる。

全国から集まった長い年月のスキルの重層した作品の鑑賞、とてもいい時間を過ごさせていただいたことに感謝いたします。



[工芸]

(一財)長寿社会開発センター理事長賞

「新からくさ文庫」

高橋 幸雄さん 93 歳(岩手県)



[書] 銅賞

「業平集より」

藤原 節子さん 83 歳

(岩手県)



(会場の様子)

# 岩手県民長寿文化祭 第35回作品展 出品作品募集中！！

【募集部門：日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真】

いきいき岩手支援財団では、令和5年6月に盛岡市で開催する「岩手県民長寿文化祭第35回作品展」の出品作品を募集しています。

なお、作品展は「ねんりんピック愛顔のえひめ2023美術展」（以下「えひめ2023美術展」）への出品作品の選考会を兼ねています。

## 作品募集の概要

### ◆会期◆

令和5年6月2日（金）13時～17時

6月3日（土）10時～17時

6月4日（日）10時～14時

### ◆会場◆

盛岡市民文化ホール 展示ホール（マリオス4階）

### ◆主催◆

岩手県、（公財）いきいき岩手支援財団、（一財）岩手県老人クラブ連合会

### ◆応募資格◆

県内在住の、**60歳以上**（昭和39年（1964年）4月1日以前に生まれた方）でアマチュアの方ならどなたでも応募できます。出品料は無料です。

### ◆出品作品及び出品点数◆

出品者により創造された**未発表**の作品とし、各部門1人1点までとします。テーマは自由です。なお、出品規格外の作品及びサークル等で共同制作された作品につきましては、展示可能な範囲内であれば出品できます。但し、えひめ2023美術展選考会の対象とはなりません。

### ◆部門◆

日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門です。

### ◆表彰等◆

部門ごとに関係芸術団体に所属する専門家に審査を依頼し、優秀な作品には賞状と副賞を授与します。副賞には、県産品等をご用意する予定です。

\*最優秀賞・優秀賞・優良賞（各部門1名ずつ）

また、各部門の最優秀賞と優秀賞の作品は、えひめ2023美術展に出品させていただきます。

### ◆応募方法◆

出品申込書に必要事項を記入のうえ、下記までお申し込みください。

※申込書は当財団ホームページからダウンロードできます。（FAX・メール・郵送にて申込可）

### 【昨年の様子】



**申込締切：令和5年5月8日（月）必着**

申込  
問い合わせ先

〒020-0015 盛岡市本町通3丁目19-1 岩手県福祉総合相談センター3階  
**公益財団法人いきいき岩手支援財団 事務局**  
TEL：019-626-0196 FAX：019-625-7494  
E-Mail：silverz@rose.ocn.ne.jp

# 令和5年度の助成事業を募集しています！

いきいき岩手支援財団が実施している「いわて保健福祉基金」「いわて子ども希望基金」では、令和5年度の第2次募集を行っています。

助成対象となるのは、岩手県内に在住または運営拠点がある法人、団体、個人で、岩手県民のために行う非営利の事業です。

## いわて保健福祉基金

対象となる事業は以下のとおりです。

### 【一般枠】

高齢者や障がい者等の保健福祉または地域福祉の増進を図るための先駆的、先導的事业。 ※複数の市町村で活動する必要があります。

**助成額**：下限10万円～上限300万円

### 【特別枠 〈ご近所支え合い活動助成金〉】

地域内で、高齢者が主体となって行う事業、または高齢者を対象とする事業  
※個人でのお申込みはできません。

**助成額**：下限5万円～上限15万円（初年度のみ30万円）

❖ご近所支え合い活動助成金についてのお問い合わせは

⇒岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンターまで

TEL：019-606-1774 FAX：019-606-1765



## いわて子ども希望基金

対象となる事業は以下のとおりです。

子育て支援などの児童等の健全育成や少子化対策の推進を図るための先駆的、先導的事业。

### 【i・出会い応援事業】

未婚男女の出会いの場創出に関する事業

**助成額**：下限5万円～上限30万円

### 【地域子育て活動支援事業】

子育て支援を目的としたイベント、講座等の開催事業、児童等の健全育成を支援する人材を養成する事業等

**助成額**：下限5万円～上限50万円



❖助成期間：令和5年7月～令和6年3月20日

※事業終了後に報告書と事業に係る経理簿及び原本証明を付した領収書のコピーを提出していただきます。

❖助成対象外：団体の運営費や施設整備等にかかる費用、営利目的の事業等

**応募締切 令和5年4月14日（金）〈必着〉**

※いわて保健福祉基金【特別枠】はまだ募集を開始していません。開始次第、ホームページでお知らせします。

詳細は財団のホームページをご確認いただくか、下記までお問い合わせください。

本紙に関するお問合せ先

公益財団法人いきいき岩手支援財団 総務・公表課

TEL:019-626-0196 FAX:019-625-7494 <https://www.silverz.or.jp/>